

苗木地区女性懇談会 会議録

開催日時	平成20年 8月4日(月曜日) 19時30分 ~ 21時20分
開催場所	苗木コミュニティセンター 2階研修室
出席者	市民：30人 行政：大山市長、副市長、総務部長、企画部長、健康福祉部長 苗木コミュニティセンター所長、地域振興局長、広報広聴課長

■開会のことば

- ・第4回の苗木地区女性懇談会を開催します

■市長あいさつ

- ・第4回目の市政に関する苗木女性懇談会です。
- ・司会、司会補佐のお二人にはご苦労様です。
- ・この懇談会の趣旨は、多くの市民の声を反映する
- ・1回目の選挙のときに多くの会場にいったとき、年配の男性の声が多かった。
- ・市政を進めていくのには女性の声も必要なのではないかと
- ・今回は若者の声も必要だと思い、2期目の公約に上げました
- ・今までの反省から、市からの出席者を少なくしました
- ・昨年までは事前の意見調整をしていましたが、今年はやめまして、今日出たご質問にはこの場でお答えさせていただきます
- ・今日お答えできない部分もでてきますが、ご容赦ください
- ・建設的な意見をいただき、市政に反映させていただきます
- ・総務部に進捗管理課を設けて、言いつばなし、聞きつばなしにしないようにしています
- ・ここでお答えした内容をフォローしていきます

■市参加者自己紹介

副市長、企画部長、苗木コミュニティセンター所長、総務部長、健康福祉部長

■昨年までの女性懇談会の進捗状況報告(総務部長)

- ・総務部に進捗管理課がありまして、言いつばなし聞きつばなしにならないように、今までのご意見をまとめたものがございます。
- ・進捗状況：○は実施済み、実施中、△○実施するが時期未定、△×実施は難しい、×実施しない
- ・過去の要望が9件、実施済み・実施中が6件
- ・昨年出たご意見が3件

●横断歩道の設置について

- ・広域農道のNSPの工場の西側のところに設置してほしいとのことですが、急カーブになっていて、公安委員会と現地を調査しましたが難しいです
- ・もう1ヶ所は条件付きですが、今年度付帯工事について進めています。コミュニティセンター含め調整中ですがすぐ工事にかかります

●図書館の駐車場が少ないので、立て替えができないか

- ・現在の図書館の耐震調査を行いまして、耐震は問題ありません。駐車場の拡張は考えていません

●博物館について(歴史資料館の駐車場と中津川の歴史がわかり楽しんで学べる施設について)

- ・中山道歴史資料館の駐車場については、中央公民館の駐車場を利用させていただきたい。ホームページ等でご案内している。
- ・各博物館ではいろいろな教室を開催していますので、ホームページ、チラシなどでPRしていますのでご利用ください

■懇談内容

- ・フリートークで、本音で語っていただく良い場です。
- ・時間に限りがありますので、一つの質問に一つの回答をお願いします

発言者	発言要旨	対応者	対応（回答）の内容
苗木学童 ●●さん	<ul style="list-style-type: none"> ・学童の方、子育て支援の方と今後の学童をどうしていくか話し合いをしました ・小学校を貸してほしいとの話がありましたが、水道やトイレを一つのフロアに設置しないといけないので、今ある教室では困難 ・小学校の上に学童がありますが、となりに教員住宅がありますので、それを利用できないか ・人数が多いので二つに分ける話もある ・今のところも利用したい ・子育て支援課の方に現状を視察していただきました ・すぐに来ていただいたのは、今までに無かったこと。ありがとうございました ・核家族が増えまして、子どもを預ける家庭も増えている ・放課後教室がありますが、中津川市はまだ学童保育に頼らないといけない ・今ある施設でお金がかからないように教員住宅を貸してほしい ・市長も検討していただきたい ・子どもの医療費だけではなく、子どもの施設も支援してほしい ・今ある場所を安く使えるような支援 	市長	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は教育委員会からは来ていませんが、それは移動教育委員会をやっているからです。 ・以前保育関係は福祉部局に属していました ・保育園は厚生労働省、幼稚園は文部科学省でした。市役所を分ける必要はないので教育委員会。 ・子どもが「育つ」と「学ぶ」ことは表裏一体なので、学ぶという部局の人も大きく関わってもらうように教育委員会でやっています ・学童も保育的な意味で、教育委員会でやっている ・次世代育成支援計画を策定して、次世代の子どもたちを育成していく観点から力をいれてやっている ・まだ不十分なことは認識しています ・苗木の学童もみせていただきました ・プレハブのような形でやっている状況もみせていただきました。 ・今までの学童はそれぞれの土地で親子の苦労・工夫でやっているので公平性に欠けるところがある ・民間の家を借りてやっているところもあるので家賃を補助している ・一番いいのは、公共施設の学校に空きがあるところ ・付知のように学校に空きがあるところは、学校を利用している ・地域で差があるので解消していく必要があると思っています ・工夫の中で、今ある施設を利用するという合理的な話をいただきましたので、教育住宅の必要具合も関係しますが検討していきたい。 ・日本は、高齢者にはお金をかけますが、少子化対策には少ないと言われていています ・子育ての環境として、所得の格差や伸びの頭打ちからすると子育てに国としても課題がある ・国と言ってもしかたない。力を入れていくべき分野として、ご提案の件には前向きに検討していきます。

<ul style="list-style-type: none"> ・八幡区 ●●さん 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの言葉が遅いので、中津川保育園に通わせています ・苗木では支援するところがない ・今年、中津川保育園に看護師さんを配置していただける話だったのが、いなかった ・今年子どもには看護を必要とする子がいないのでいいのですが。 	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この部分については、教育委員会に移させていただきました ・発達支援センターについては、障がいや課題などをもっている児童が通っています ・「育つ」と「学ぶ」ことは表裏一体
---	--	-----------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・心臓が悪かったりする子もいたり、医療行為が必要な子もいるので、看護師さんも配置してほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・その子どもさんが「何ができないか」に着目し物事を進めるよりも、『何ができるようになるのか』を考えていく、そういう考え方で発達支援センターは教育委員会の管轄です ・保育の部分も教育委員会の管轄。 ・発達支援センターと中津川保育園との連携 ・保育時間がおわったらすぐに訓練ができるように展開しています。 ・医療行為がどれだけできるのかについては、手持ちの資料がないのでお答えできません ・看護師の確保が難しい ・優先順位を考えて持ち帰らせていただきます ・養護訓練センターの中には看護師の資格を持った職員も配置しています ・隣の施設ですが対応できる形にはしている ・障がい者の方の相談センターも今年度から設けています ・専門的な助言もいただけるようになっていますのでご利用下さい ・そういうことが市民の皆さんに伝わっていない ・市役所は良いことをしていますが、宣伝が下手ですので、努力していきます
		副市長	
		市長	

	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉が遅いので、言語療法のために土岐市まで通っている ・毎月1回通っている ・支援センターでは年に1回しか受けられない ・支援センターとしての役割を考えて、何回も受けられるように手厚くして欲しいガソリン代も上がっていて負担も大きい 	副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・言語訓練については回数が少ないのは確かです ・障がいの程度の部分と一緒にの方が同じにセットできればと考えている ・回数の問題については、指導者も少ないので、宿題にさせていただきたい
		市長	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の育つ・学ぶ・働くを整備しますと公約にあげている ・この分野は他の福祉分野以上に力をいれるべき分野と考えています ・特に福祉は自助・互助・公助 ・本当に助けをもとめている人の度合いに応じてやっていく ・今の財政状況では、他の分野で我慢していただく部分もある ・障がい児の施策は充実させていきたいと思っています
<p>更生保護女性会 大牧 ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一昨年と昨年4ヶ月、苗木小学校で支援員をやりました ・今の支援センターができて、手厚くなっていることはありがたい ・小学校に入学した後は、支援センターにかかわれない ・入学後の支援を考えてほしい ・普通学級での対応になっていますが、担任の先生の裁量になっていませんか ・もっと人を配置できませんか ・財政面もありますが、もう一度中津川の状況をよく把握していただいて、考えていただきたい ・知ってはいますが、もっと・・・ 	市長	<ul style="list-style-type: none"> ・これも教育委員会の管轄です ・少人数学級にするため、指導助手を増やしました ・合併後、旧町村も必要ところに増やしました ・市長になったころは15人で、今30人くらい先生が増えている ・今のお話しの特別支援助手を今年度5名導入しました ・障がい、多動性症候の児童が増えてきているので、どの程度出来るかは今後の話です ・これもPR不足 ・県との関連で、養護学校との整合性

も関係します

- ・基本的には、土岐、恵那までいかないといけないような状況はなんとかしたい

- ・財政的な部分もある

- ・そういった子どもさんほど、手元できめ細かく手をかけたい

- ・市内も統合しようとしたが、旧町村に機能を残して、発達支援センターつくしんぼで支援するようにしました

- ・市は分散型でやっていますが、県は行政を統合的にやろうとしている

- ・県は岩村高校の跡地にしようとしている。非常に冷たい行政をやっている

- ・統合的にやることは、行政的には効率的ですが、利用する側にとっては不便です・特に障がいをもっている方の施設は広域に集めていく方向にあるが、変えていくべき時代だと思っている

- ・国、県に働きかけてやっていきたいというのが私の気持ちです

<p>苗木小学校 母親委員会 ●●さん</p>	<p>・小学校の体育館の耐震化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常に危険 ・災害時の避難場所になっている ・移動教育委員会でもお願いしましたが、早急に建替をお願いします ・狭いし、区民の方が利用するときには高さが足りないので、苗木中学校の体育館を借りている 	<p>市長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の話ばかりなので、確認します ・他の部分はどうでもいいというわけではありませんよね ・移動教育委員会とすみわけをして、時間を有効にしたいと思います ・耐震化について基本的な話をさせていただきます ・学校については、どこに手を加えないといけないかをしっかり調査するようにいっている ・耐震化については阿寺断層の付近 ・それぞれの小学校の親御さんの意見も大切ですが、全体的に公平に見ていくことも必要です ・坂下中学校には体育館がないが、隣に立派な総合体育館がある ・少年の主張もちゃんとできる ・音響についても改善されまして、耐震化については・・・ ・中学校の統合で、合併の時の条件だから、新しい体育館を建てて欲しいといわれるが、それは無駄だと思う。 ・実際に中学校で利用できている ・朝の部活は使いにくいですが、カギの管理などの使い難い部分はルールをかせれば済むこと ・一つの目で見てもどこを先にやるかと、教育委員会にも言ってあります ・苗木の個別のことについてはここで答えすることは難しいので、別途お答えしたいと思います
---------------------------------	---	--

- ・給食費の問題
- ・苗木中学校と小学校で給食を作ってもらってます
- ・国内産の材料重視ということで給食費が9月から値上がることが決まりました
- ・今後も値上がりをする可能性があるのでは・・・
- ・市からの給食費に対する補助を考えてほしい

- ・何年か前から冬休みが短くなって、夏休みが長くなっている
- ・十日市には学校が始まっている
- ・冬も寒い場所ですので検討してください

- ・苗木中学校にカウンセリングの先生が月に数回いらっしゃる
- ・親に悩みがあっても、踏み込んだ相談・専門的な相談先がなかなかありません。
- ・中学校には月に何回かはありますが、小学校にはいません
- ・小中学校にカウンセラーを常駐できないか
- ・発達支援センターの存在や相談できる場所を知らない人もいます。
- ・学校側にいてくれると、不安を持つ親御さんの悩みも解消されるのでは・・・

- ・給食費の補助については、結局税金から出すこと
- ・居る家庭はもちろん、お子さんの居ない家庭も負担していただくことになる
- ・それを是とするかどうかという部分
- ・少子化対策で医療費について税金をとらせていただいている
- ・給食費については、滞納がどうかを整理する必要がある
- ・税金の滞納など整理して、順序で検討したい
- ・苗木小学校の給食費の滞納についてはわかりませんが、南小学校は給食費の滞納ゼロ
- ・まず公平にすべきで、その次に税金をいれるかどうか、市民全体の議論が必要

- ・休みの話は教育委員会に伝えさせていただきます

- ・カウンセリングについても、後日お答えします

<p>苗木保育園 保護者会 ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は新しいプールをいれていただきました、ありがとうございました ・苗木保育園は日陰がありません ・暑い日でも遊べる日陰をつくってください 	<p>市長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それもいろいろと検討していただきます ・教育長と自分の関係 ・教育長は5人の教育委員の一人 ・5人が教育をどうするかをきめます ・教育委員会事務局は県の教育委員会の指令を受けて動いているようにみえる ・教育委員長を中心に議論をして動いて欲しい ・教育長は事務局長で、決めたことを実行する ・教育委員と私は定期的に打ち合わせをしている ・特に予算にからむ部分については教育委員長からお話しをいただいています ・教育委員会に言って、私に言わないと物事が運ばないわけではないです ・大分県の教員の汚職事件で、教育委員会の独立を問題視する部分もでている ・教育委員会は独立した機関として、市長と議論する ・市長は教育委員会に物を申せないのもおかしい話 ・財政を預かっているので、教育委員会とは議論をさせていただきます ・議論した結果、保育園やつくしんぼを教育委員会にお願いして、逆に文化機能、スポーツ機能を市長部局にしました ・若いお母さんはよそから来ている方も結構な割合でいる ・他の自治体の行政を見られた立場から中津川市の行政に対する意見を欲しい。
--------------------------------	--	---

<p>のぞみ保育園 ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別にありませんが、皆さんの意見を聞かせていただいて、勉強になります ・ こういう機会を設けていただきたい ・ 返答も個人的ではなく、市長から私たち全員にいただけるとうれしい 	<p>市長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おっしゃるとおりです。 ・ ある方の意見に回答させていただいた後に、もう一歩進んで、同じことは他にもないかと探す行政にしないといけない ・ 声の大きいところは手厚く、そうじゃないところにはどんどん遅れていってしまう、不公平 ・ 防災行政無線の例 ・ コンサルタントが防災無線を140基必要といったところ、予算がないため70基しか設置しなかった ・ それで聞き取りにくい状況なのです ・ そこへある市議が声を上げた地区には2基増設した ・ 後の地区はほったらかし ・ そういう行政を中津川市もしてきました ・ 公平公正な形で物事を行うべき ・ 広報をしっかりとする ・ 広報広聴課長が後ろに来ています ・ 公約にも、市政の実情をわかりやすく説明しますと上げました ・ ありのままにわかりやすく説明する必要がある ・ 今日出たお話も、今年度の女性懇談会でこんなことがありましたと出していく ・ まだまだPR不足も含めて遅れている部分 ・ 聞いていない部分もお届けする態度で広報していきます ・ それを聞いていただいたら、それに意見をいただく（広聴）ようにしたい ・ ありのままをわかりやすくご説明しないと意見も言えない ・ 進捗状況の説明で、歩道の部分で付帯工事とありましたが、これはわかりにくい説明 ・ 「ありのままをわかりやすく」で行きます
------------------------	---	--

<p>三郷区 ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ミックス事業の汚泥乾燥施設の建設予定地区に津戸地区が選定されていますが、環境の悪化やイメージダウンになる施設は建設しないと下水の施設を建設するときに約束してあるそうです ・近隣住民の気持ちを考えてください ・津戸地区には絶対建設しないでくださいようにおねがいします 	<p>副市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道汚泥とし尿汚泥の乾燥施設でミックス事業 ・建設して40年以上経つし尿の処理場もあわせて建設したいとまちづくり協議会にもお話をし、地域の方にもお話をする格好で、まちづくり協議会にお話ししてストップしています ・迷惑施設をもってこないという約束については、担当にも確認しましたが、具体的なお話しはしていないということを知っている ・言った言わないや、中には土下座をして謝ったという話も聞いていますが、しっかり伝え、話し合いをして、誤解をといていかないとはいけませんし、誠意を持って交渉させていただきたい ・今ある処理場に公園をとということについて ・土地を買う時点で公園をとということで、残地を買ったのですが、結果その部分については公園をつくる予定から変更になっていますし、約束の公園部分はすでに整備が終わってきています ・交渉のテーブルにのっていただきながら話し合いを進めていきたい ・誤解されている部分が当然あります ・環境影響調査や設計についても、具体的に皆様にしっかりと説明させていただく機会をもたないと地域にはいっていけない ・各担当部長が粘り強く地域の役員さんにその場を設けていただけようをお願いしている ・ぜひ地域としても建設に向けてお願い申し上げたい ・津戸地区を選定した理由は、まちづくりのときにも説明しましたが、市内地域10箇所を選定 ・その中から、放水先が必要である、土地の確保、周辺の道路事情、アクセスの問題
---------------------	---	------------	--

		<ul style="list-style-type: none"> ・乾燥汚泥を環境センターに運び込む地理的な問題 ・もう一点は水の確保の問題。処理場の処理水を活用できる ・諸条件を勘案して選考しています ・まちづくり協議会にも、議会の全員協議会の中でも説明させていただきました
<p>三郷区 ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2期目の市長の公約で、汚泥の選定地の見直しするとおっしゃいましたので、期待して市長を選挙で押しました ・ 津戸地区は民家が多いので、汚泥処理場はイメージダウンだし、環境に悪い ・ 森の中に出来ないでしょうか <p>・ 市長はどこにできるかご存知ですか</p>	<p>市長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再考すると、私はお話ししました ・ 再考する中で、お話の「森の中」というお話もあるやに聞いてます ・ 地元でそういう話があることは承知しています ・ 図面を見て確認という事でしたが、遠慮させていただきました ・ そういう中で再考させていただきます ・ 地元でそういった話があると聞いている ・ 話し合いを持たせていただくことが大切。しかし話し合いを持たせていただいていない ・ 担当のところに話が来ているか確認しています。しっかりとした形では来てないとのこと ・ まずは話し合いの場をもつていただく ・ 副市長がご説明したように、あやふやに物事をご説明しているわけはありません ・ 10ヶ所の内のもう1ヶ所という位置づけで比較させていただく ・ 森の中という意見は厳しいと思います ・ 一度話し合いをさせていただくということだと思います <ul style="list-style-type: none"> ・ 知っています ・ 副市長が話したとおり、環境に影響が無いようにすることが私たちの勤めでもあります

	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道のときも同じことが言われましたが、実際臭いがあります ・今度の汚泥になったら、本当にイメージダウンだし環境も悪化すると思います ・ぜひ森の適地をお願いします ・自分の孫にまでも、いやな思いで暮らさせたくない 	副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境については、環境基準がありますので、しっかり調査・検討した上で問題が発生しないようにすることが私どもの勤めだと思っています ・衛生車には脱臭装置がありませんので、汲み取りの臭いがでます ・都会の真ん中でも処理施設はいくつもあります ・クローズドシステム ・バキュームカーがはいったら、きちんとシャッターを閉めて、脱臭装置で臭いをとる ・近隣に迷惑をかけない形で運用しています
	<ul style="list-style-type: none"> ・津戸区に汚泥施設ができると、衛生車が日に30台から40台が搬入されると聞いた ・風向き加減によっては匂いがひどい ・コストはかかるかもしれませんが、人家のないところへぜひお願いします ・環境センターの余熱で乾燥させ、焼くという話はどうなりましたか 		<ul style="list-style-type: none"> ・桃山の施設では、反対もあったが完成してからは問題がない ・恵那市では住宅地の近くに処理場を建設しましたが問題は無いと聞いています ・一度現地を見ていただいたり、類似施設を勉強していただきながら耳を貸していただきたい ・まちづくり協議会でも説明しましたが、乾燥施設を備えた形で完成していません ・余熱で乾燥するという話ですが、85%程度の含水率を50%する乾燥施設を今度建設したい ・環境センターには、50%を30%に下げる機能はついています ・それをごみと混焼します ・どうしても乾燥させなければならぬ ・一緒にやることでコストも30億円の削減になる

	<ul style="list-style-type: none"> ・桃山を通ると臭いますがどうですか？ 		<ul style="list-style-type: none"> ・過去に臭いはありました。苦情もありました。40年前の施設です。 ・付知に恵北衛生センターがあります。新しいクローズドタイプ ・施設が古いものについては匂いがでることもあった ・北野地域の方と議員も含めた運営協議会が設けてあり、年4回は話し合いをしている ・今後もそういった運営協議会を設立して運用していきたい
<p>子育てサロン ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいコミュニティセンターのこと ・苗木に児童館がない ・未就園児の集う場所として、コミュニティセンターを拠点に「びっころ」を発足させ、今も活動している ・利用者等が集まって話し合いをして、半年経つが新しいコミュニティセンターの進み具合はどうなっていますか 	企画部長	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンターについては、経過報告にもあります ・H18に質問がありまして、昨年8月に建設検討会議がおこなわれました ・昨年末、7月に会議を開いた ・今後の取り組みについて相談 ・コミュニティセンターは公民館施設も併せ持っている ・公民館部分と事務の部分を検討 ・地域的には岡田地区に建設する方向で検討 ・地元の皆さんの関心が高いことですので、早く方向性を出して進めたい
<p>民生委員会 ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・精神的な障がいを持っている方について ・退院してから仕事をするにも大変です ・精神障がいの方に対する支援はどうなっていますか？ <ul style="list-style-type: none"> ・精神障がいは表に出したくない部分も多いので、全員で見守っていける環境にできたらと思います。 	健康福祉部長	<ul style="list-style-type: none"> ・H18年度障害者自立支援法が成立 ・身体障がい者と知的障がい者、精神障がい者それぞれに対応 ・中津川市で障害者自立支援計画を策定 ・身体障がい者と知的障がい者、精神障がい者が一括りになった ・ご指摘のとおり、身体障がい者と知的障がい者、精神障がい者で違う ・精神がい害は薬や人間関係で悪化するので難しい <ul style="list-style-type: none"> ・恵那保健所の保健士、健康医療課の保健士で訪問させていただく ・自立支援法で他の障がい者の方と同じサービスを受けていただけるようになりました

			<ul style="list-style-type: none"> ・利用してもらっていますが、担当が変わると受け入れられない状況もあるので、スムーズにサービスを提供したり対応が難しいのが課題
山の田 ●●さん	<ul style="list-style-type: none"> ・フェロシルトの件 ・捨てさせてくれといわれたときに断りました ・その後も地元で見回りもしましたが、それ以前にすてたようです ・県ですが、市でも見張ってください <ul style="list-style-type: none"> ・県道中津川山口線のふたこぶらくだの坂道の件 ・すぐに出来るといわれていましたがどうになりましたか 	副市長 市長	<ul style="list-style-type: none"> ・フェロシルトについては、中津川市では山の田地区でしっかりガードいただけたと思っていました。 ・坂本で発見されたときに県の指導で撤去され、その後川上（かおれ）でも発見され、終わったと思ったらまた ・安心安全の対応をしていきたい <ul style="list-style-type: none"> ・中津川山口線の改良部分について ・用地、排水について、説明させていただいている。 ・工事も始まったが、県の財政が厳しい ・予算が最盛期の3分の1 ・進捗を早く進めていくように要望 ・なくなったわけではありません <ul style="list-style-type: none"> ・今のような話はもっと広報しなさい。どんな状況か。 ・ありのままにわかりやすく。なかなか難しいですが ・当時、企画部長が生活環境部長だった ・私は当時止めろといった ・四日市からわざわざ来るのだから普通ではない ・三重県が大丈夫と言ったのが始まり ・法的に止められなければ、進入路で工事をしなさいと言った ・市民の皆さんの監視が必要 ・市役所の玄関にフェロシルトを展示しました。 ・変なものが通った時には通報してください ・生活環境部の生活安全課に警察OBの方が来ている ・強い姿勢で対応していく

■市長総括

- ・移動教育委員会と同じことをいつていただいた部分多い
- ・いいっぱなし、ききっぱなしにしない
- ・コミュニティセンターは、市役所の出先として、目となり耳となり、手足となってほしい
- ・旧町村には総合事務所がありますが、人口でいったら苗木は多い
- ・コミュニティセンターを大いに活用していただいて、一年に一回の会議では物足りないので
- ・コミュニティセンター所長は川上の総合事務所長で部長クラスです
- ・コミュニティセンターを活用ください。コミュニティセンターと一緒に回答させていただきます

■閉会

本日は、色々な意見が出て、とても勉強になりました。市長と直接話すことができ、有意義な会にすることができました。今日の会が、今後の苗木発展に活かされるよう願っています。本日はご苦勞様でした。